

安佐医師会サーベイランス週報 第48週 平成24年11月26日(月)～平成24年12月2日(日)

地区	地 区	祇園	安古市	沼田	佐東	可部	高陽	安佐	白木	安佐市民病院	合計	傾 向	コ メ ン ト
	定点医療機関数	4	5	2	2	4	5	2	1	1	25		
	対象人口	70,301	83,657	36,558	43,980	57,838	65,649	20,919	9,158		388,060		
	定点数当り人口	17,575	16,731	18,279	21,990	14,460	13,130	10,460	9,158				
1	RSウイルス感染症	3		2		2	4			1	12	↑	<p>【第48週 安佐圏域での各種感染症の動向】</p> <p>1. RSウイルス感染症: 12件と<b>再流行中</b>(9月に一時流行)</p> <p>4. 感染性胃腸炎:184件と増加(下図)</p> <p>12. インフルエンザ:<b>A型1件(白木)</b></p> <p>&lt;インフルエンザ情報&gt; 広島市医師会インフル動向調査: A型3件、B型4件(48週)</p> <p>【同調査にみるインフルの年齢分布】 ...11月～12月2日現在まで</p> <p><b>A型</b>:小児7件(0～4才0件、5～9才6件、10～14才1件) 成人12件(15～30才3件、30～50才6件、50才～3件)</p> <p><b>B型</b>:小児8件(0～4才3件、5～9才3件、10～14才2件) 成人8件(15～30才0件、30～50才6件、50才～2件)</p> <p><b>*A型(19件)、B型(16件)とも多し</b> <b>*30～50才にピーク</b> <b>*B型は安芸郡でことに多し(16件中12件)</b></p> <p>&lt;安佐地区感染性胃腸炎の推移&gt;</p> <p><b>・135→184件とさらに増加</b></p> <p>【今週のイトコール】祇園ブロックのI医院より、「感染性胃腸炎 12例中6例はノロウイルスによる。」可部ブロックのK医院より、「ノロウイルス陽性2例」との報告がありました。</p>
2	咽頭結膜熱						2			1	3	↑	
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	1	1		6	6				17	↓	
4	感染性胃腸炎	42	8	19	4	49	54	7	1		184	↑	
5	水痘	1	1	3		1	4				10	↑	
6	手足口病												
7	伝染性紅斑												
8	突発性発しん	2		1	1	1					5	↑	
9	百日せき												
10	ヘルパンギーナ												
11	流行性耳下腺炎				1		2				3	↑	
12-A	インフルエンザ(A型)								1		1	→	
12-B	インフルエンザ(B型)												
13	急性出血性結膜炎												
14	流行性角結膜炎		1								1	↓	
15	麻疹												
16	風疹												
17	MCLS(川崎病)												
18	髄膜炎(細菌性)												
19	髄膜炎(無菌性)												
20	マイコプラズマ肺炎	4		2							6	↑	
21	クラミジア肺炎												
22	その他												
合計		55	11	28	6	59	72	7	2	2	242		

◆◆安佐南保健センターより◆◆12月1日は世界エイズデーです！ 安佐南・安佐北保健センターでは、下記の通り通常検査に加え臨時HIV抗体検査を行います。

検査は各日9:00-11:00、無料・匿名、結果説明も含め30分以内で終了する迅速検査で、迅速検査陽性の場合はWB法とPCR法による確認検査を行い、1週間後に本人に結果を説明します。  
検査予約は、平日8:30-17:15、安佐南保健センター:電話 831-4942、安佐北保健センター:電話 819-0586 で受け付けています。

12月3日(月)	12月4日(火)	12月5日(水)	12月6日(木)	12月7日(金)
安佐北保健センター	安佐北保健センター	安佐北保健センター	安佐南保健センター	安佐南保健センター

安佐地区以外の広島市各保健センターでも、12月第1週に臨時検査を行っています。詳しくは広島市ホームページの「エイズに関する相談と無料・匿名検査」をご覧ください。

広島県の2007年～2011年の若年男性(24歳以下)のHIV感染報告例は、人口10万対で東京都、大阪府、沖縄県に次いで全国4位、山口県も同8位であり、中国地方での若年層への感染拡大が懸念されています(IASR Vol. 33 p. 232-233:2012年9月号)。HIV感染に関連しやすい性感染症が認められる場合、既往がある場合または疑われる場合でHIV感染症を疑う場合は、HIV検査も保険適応になりますので、疑わしい場合は本人同意の上、HIV検査も行っていただくか、保健センター等での無料検査を勧めていただきますようお願いいたします。